

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501230
法人名	医療法人社団 久和会
事業所名	グループホーム桜
所在地	愛媛県新居浜市船木甲3656番地 8
自己評価作成日	平成28年8月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年8月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>介護老人保健施設に併設した医療法人設立のグループホームです。医療連携においては、協力病院の24時間体制での全面的なバックアップで安心した環境にあります。また、素晴らしい環境での共同生活を通じて、少しでも元のご自分を取り戻し長く元気で生活されるよう誠心誠意努めております。さらに、ご家族への情報発信に努め、信頼関係の構築を大切にしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は、回想法を採り入れて懐メロを一緒に歌ったり、しりとり、ことわざ、方言クイズ等、レクリエーションのアイデアを出し合い、利用者が楽しく過ごせるよう支援している。職員は、外部研修に順番に参加している。さらに、資格取得にも積極的に取り組んでいる。職員の入れ替わりが少なく、勤務経験を積んだ職員が多い。</p> <p>家族来訪時には、利用者の暮らしの様子を報告して意見や要望を聞いている。月1回、個々の担当職員が、手紙で日々の状況を家族に知らせている。又、季刊誌「桜通信」を作成して、行事や取り組み等を写真入りで報告している。年2回、お花見と芋炊き会時に家族会を行い、交流をしている。運動会やクリスマス会等の行事時には、家族にも案内をしている。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名 グループホーム桜

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名

木村信夫

評価完了日

平成28年8月1日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 面会に来られた皆さんにもよく見える玄関ホールに掲示しています。また、詰所内にも掲示しており、全職員が周知、実践するべく努力しています。 (外部評価) 理念は、開設時に「入居者の皆様が少しでもご自分らしい以前の生活を取り戻されるよう誠心誠意支援いたします」とつくり、玄関や事務所に掲示している。管理者は、月1回の職員会議や日々の申し送り時に理念に触れて、実践に向けて話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地元自治会の各種行事への参加で、ホームの存在を認識していただいています。毎年の夏祭りへの相互参加は、年々、盛んになってきました。その他の行事等へも地元の方がお越しいただけるように努力したいと思います。昨年は自治会長さんのご案内で、職員が地区の防災訓練にも参加させていただきました。 (外部評価) 運営推進会議時に、自治会長から自治会と校区の二つの夏祭りの案内があり、利用者と職員で手作りのうちわを持って参加した。法人合同の夏祭りは、地域の方達を招待して盛大に行っている。秋祭りには、太鼓台とお神輿の訪問がある。月1回お茶社中の方の訪問があり、利用者は和菓子とお抹茶を楽しみにしている。保育園児の訪問が年2回ほどある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 全体会や部署会で研修した資料を、自治会長さんや民生委員さんにご提供しています。また、自治会で認知症やグループホーム、他の介護施設等のサービスの利用等について説明しています。徐々に、ご存知の方も増えてきており、認知症をご理解いただく為にも続けたいと思います。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 現場の職員も会議に参加しており、入居者の皆様の普段の様子や行事での表情や様子等、現場の詳細な状態を発信し、直接、ご家族や自治会の方等、参加者のご意見をお聞きしています。また、外部評価への取組みを部署会で全員に伝え、意思統一を図り、より良いホーム作りに役立っている。</p> <p>(外部評価) 会議には、自治会長や民生委員、ボランティア代表と家族1～2名の参加があり、事業所から活動や利用者の状況、行事や今後の予定等の報告を行い、意見交換を行っている。自治会長から地域行事等の案内があり、民生委員からは、地域の高齢者の現状報告がある。地域からの参加者は、特に、会議に熱心に取り組んでくれており、管理者は地元関係者とのつながりが深まっていると感じている。</p>	<p>利用者も参加できるような会議の工夫に取り組んでほしい。さらに、会議内容を工夫して報告や情報交換にとどまらず、事業所の課題を具体的に出して話し合ったり、意見を聞き、理解、協力者を増やしてほしい。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者より頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市や地域包括支援センターの担当者との連絡・相談に壁はなく、いつでも何でも相談できています。また、行政からは様々な情報発信をいただき、市の担当者には運営推進会議に参加いただいたりし、連携・協力については順調です。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時に、市の担当者が介護保険制度の改正等について話してくれたり、利用者支援の取組みについて感想を話してくれている。介護相談員の訪問が2ヶ月に1回あり、居室でゆっくり利用者の話を聞いてくれる。小学生の体験学習を毎年受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束はなく、職員一同全力で取り組んでいます。研修に関しても、併設老健と合同で実施し、知識の習得に努めています。</p> <p>(外部評価) 法人内研修のテーマに毎年採り上げて繰り返し勉強している。日中は、玄関に施錠せず、目配り気配りで見守っている。「自己点検シート」で職員が自分が行うケアをチェックする仕組みがあり、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 併設の老健施設と合同の全体研修会を実施しています。職員が主体となって虐待にも様々なケースがあること等、実際に調べ、発表することを通じて知識を身に付け、虐待の防止に全員が取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) この制度の内容について、高齢になられた主介護者だけでなく、他のご家族にも説明し、理解を得る努力をしています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に、ご家族に運営規程、重要事項説明書を提示して、内容の説明を行い、必ず説明の時間を設け、同意の上で契約行為を行っています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段から面会時等、お話を伺ったり、何でも言っていただきやすい雰囲気につけています。また、介護相談員制度の導入や運営推進会議へのご家族、経営者、職員等の参加で、率直なご意見をお伺いし、経営者の即決で回答する等対応できていると思います。 (外部評価) 家族来訪時には、利用者の暮らしの様子を報告して意見や要望を聞いている。月1回、個々の担当職員が、手紙で日々の状況を家族に知らせている。又、季刊誌「桜通信」を作成して、行事や取り組み等を写真入りで報告している。年2回、お花見と芋炊き会時に家族会を行い、交流している。運動会やクリスマス会等の行事時には、家族にも案内をしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>(自己評価) 常日頃、管理者は計画作成担当者等、各職員に声を掛け、意見を聞いたりし、相談しやすい雰囲気をつけおり、また、直接進言できる雰囲気になっています。毎月の職員会議での意見も重視し、日々の問題点の把握、業務の改善を行い、仕事のストレス、悩みの素にならないように努めています。</p> <p>(外部評価) 職員は、回想法を採り入れて懐メロを一緒に歌ったり、しりとり、ことわざ、方言クイズ等、レクリエーションのアイデアを出し合い、利用者が楽しく過ごせるよう支援している。職員は、外部研修に順番に参加している。さらに、資格取得にも積極的に取り組んでいる。職員の入れ替わりが少なく、勤務経験を積んだ職員が多い。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>(自己評価) 給与水準や労働時間、職場環境など、全てきちんとしており他のホームと比較しても何ら劣ることはないと思います。超過勤務も正確に把握評価し、休暇取得も法定どおり確実に行われ、条件的には問題ないと思います。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>(自己評価) 老健施設の併設というメリットで、医師、看護師、管理栄養士等から各種の研修を受けています。また、外部の研修にも努めて参加し、内容を他の職員と共有することで職員のスキルアップにつながっています。更に、資格取得を目指すよう勧めしており、年々、資格取得者が増えています。(現在、職員14人中、12人が介護福祉士です。)</p>	
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>(自己評価) 同業者も時には来ますが、居宅介護支援事業者がよく来られます。そのケアマネから様々な情報を頂くことも多く、自分のホームとの違いなどを把握できることがあります。また、介護支援専門員連絡協議会に所属し研修会に参加しており、他ホームに伺い勉強会や交流を図り、サービスの質の向上に努めています。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価) 最初からご本人と一緒に見学、相談に来られるケースはまれです。必ずご本人と共に来られる機会を作っていたり、ご本人と直接お話ができるようお願いしています。まず、ご本人のお話を傾聴することを重要視しており、安心してお話いただくことで、その後のケアもスムーズであるように思います。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 申込段階でまず現状や困っていること等をお聴きし、在宅サービスの確認や紹介なども含めアドバイスしています。ご家族の心のケアも忘れてはならず、ご家族との信頼関係なくして、ご本人を含めた良い人間関係は生まれません。ご希望なども詳しくお聴きしてご家族との関係作りに努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず、申込の段階でよくお話を伺います。その段階で本当によろしいことか、現状をお聞きして分析し、ご本人とご家族の両方にプラスになるケアは何か、必要としていることを把握しアドバイスするよう努めています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日々の生活に必要な活動、特に炊事、洗濯、掃除といった家事等、お手伝いいただけることは出来るだけ参加していただき一緒に行っています。入居者の皆さんは人生の大先輩で、要領を教えていただくことも多くあります。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族には1か月の生活の状態をお知らせするようにしており、安心いただけています。また、よく面会に来られる場合は相談できますが、あまり来られない場合には文書や電話での情報交換もあり、ご本人とご家族のコミュニケーションを促進して関係が薄れないよう努めています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご家族のご理解ご協力、散髪、外食、墓参り、買い物、日帰りの自宅訪問と、以前に比べ外出の機会が増え、馴染みの関係の継続が出来ていると思います。知人やご近所の方の面会も時折あり、今後も更に増やしていければと考えます。 (外部評価) 「生まれ故郷に行きたい」という利用者の気持を家族に伝え、家族と一緒に南予の生まれ故郷まで出かけた方がある。家族や知人に手紙を出す方には、職員が切手やハガキの購入、投函を支援している。調査訪問時に、利用者の世代に懐かしい紙芝居のボランティアの訪問があった。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 他の利用者に対するご様子は、普段から気を付けています。様々な方が共同生活を送る為、色々ありますが、職員が気を付けて、他の方のお世話をさせていただいたり、仲の良い方同士と一緒に過ごせるよう配慮したり、共同の場では職員が会話を仲介するなど、和やかな雰囲気作りに努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 医療法人になっており、ホームを退去されても、完全に関係が途切れることは殆ど有りません。ホーム、デイケア、老健、病院の利用や、あるいはその後のこと等、いつも何らかの相談があります。その都度、日々の生活支援とご家族との信頼関係構築がいかに大切かを再認識しています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人やご家族に入居時や面会時等、適宜お話を伺っている。ほとんどの場合、お願いしてご本人に関する「レポート」を頂戴いただけるようになりました。生活歴や何が好きで、どのようなことが嫌いで機嫌を悪くされるか、更に趣味など、ご本人の個性や意向の確認に努めています。 (外部評価) 入居時、家族に利用者の生活歴や生活環境、馴染みの暮らし方やこだわり、趣味等を自由に書いてもらい、情報収集に努めている。日々の個別記録には、本人の言葉をそのまま記入している。又、言葉や表情、行動等から汲み取った気持ちを記入することもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に必ず面接し、ご本人やご家族から生活歴、環境、サービスの利用歴等を伺っています。また、担当ケアマネからの情報や、ご本人に関する「レポート」をご家族等からほとんどいただけるようになり、以前より把握しやすくなっています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) サービス提供記録に、一日のご本人の状態を記録し把握しています。勤務シフトに応じて、各職員が詳細に記録し、細かい変化も逃さないように気配りしております。また、ご家族へは、その内容をまとめて毎月、1か月の「生活の記録」として文書でお知らせしています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族のご希望、ご意見、入居前の担当者であったケアマネージャーの情報からご本人の状態を反映した介護計画を作成しています。また、効果やその後の変化について記録しており、上記関係者や主治医そして各職員の意見等を反映しながら計画内容を見直しています。</p> <p>(外部評価) 計画作成前に利用者や家族から希望等を聞き取り、「本人・家族の希望欄」に詳しく記入している。計画は、個々の担当者が原案を作成し、職員で話し合っケアマネージャーがまとめている。計画は、カードックスに挟み、短期目標の「実施」と「効果」をそれぞれ毎日、◎○×でチェックして職員間で状況確認を行っている。6ヶ月に1回、又は、状態変化時に見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の介護経過記録をご利用者ごとに詳細に記録し、他職員への申し送りをして情報の共有を図っています。毎日、介護計画に沿った支援ができたか、また効果はどうかを記録に残し、次への参考としています。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療法人が母体であり、併設老健との連携というメリットを活かして、各種の催しへ積極的に参加できる体制を整えたり、各職種の職員との協力関係、医療連携におけるスピーディーな対応等、単独のグループホームでは出来ないサービス提供も出来ていると思います。これこそ、ご本人やご家族に安心いただける大きな要因だと思います。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 新居浜市の介護相談員制度の導入、地域の観光資源や季節の催し、ボランティアさんの催し活動の導入、更には秋の祭りでの太鼓台の来園等、外部との触れ合いを忘れないようにする努力をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人、ご家族の希望を最優先した医療機関の受診を、ご家族のご協力を受けながら行っており、その点は入居時に説明しています。現在は、協力病院にない診療科のみ他院を受診される方がほとんどです。協力病院の場合には、より密接な医療と介護の連携が行えています。</p> <p>(外部評価) 現在、全員の方が母体の協力病院をかかりつけ医にされており、個々に往診がある。専門医の受診は、家族が同行している。落ち着かない状態が続くような時には、本人の状態をかかりつけ医に報告しながら総合的な支援に取り組み、安定剤の減薬や短期間の内服にとどめる支援を行っている。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 医療連携先の看護師や医師の直接の回診や往診等もあり、その都度、相談することができている。また、「普段と違う」と感じれば医療連携先に報告し速い判断をもらうことができ、ホームとしては適切な受診や看護を確保しています。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 医療法人設立のグループホームであり、協力病院への入院の受け入れもスムーズで、病状の情報交換も頻回です。入院時のサマリーや口頭での詳細な状態報告、また、入院中の状態を随時聞くことが出来る等、密接にやり取りできる関係です。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居前の説明時に、この点については十分な説明を申し上げています。また、このような状況が発生しそうな場合は、再度、主治医よりご家族に説明をしていただき、ホームとご家族、医療機関の連携が取れていると思います。</p> <p>(外部評価) 契約時に、事業所でできること、できないことを説明し、希望があれば看取り支援までできることを説明している。「ぎりぎりまで」支援した事例はあるが、最後は家族の希望で入院となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 併設老健との合同勉強会やマニュアルで研修し、実際の場合には、連携先病院や老健とも連携し順調に推移しています。また、連携先病院医師による指導もあり、特別な症状にも適切に対応できています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災については、日中および夜間を想定した消防署立会いの訓練や自主訓練を実施、災害時の避難等については全体職員会で研修しています。大きな災害時には、ご近所の避難場所になることも考えられることから、地域との連携がお互いの為に欠かせないと認識しています。地元自治会長も同様の見解です。 (外部評価) 年2回、利用者も参加して併設施設と合同で火災時の避難訓練や土砂災害を想定した訓練を行っている。内1回は、消防署の協力を得て実施している。昨年12月には、自治会長の誘いで地域の防災訓練に職員が参加した。事業所付近は、土砂災害危険箇所になっており、運営推進会議時に地域参加者と災害時の避難について話し合っている。事業所が一時避難場所として開放できることを伝えている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳という点では、プライバシーやプライドの保護は、とても大切なことです。職員会議や、併設の老健施設との合同の研修会を行っており、研修会では、外部から講師を招いて勉強する機会も確保できています。 (外部評価) 法人内研修で「プライバシー」や「尊厳」について繰り返し学んでいる。トイレの声かけや誘導時は、周りの利用者に分らないよう配慮し、居室に入る時は声を掛けてから戸を開けるようにしている。昼食時、職員は、丁寧な言葉と笑顔で利用者と会話していた。洗濯物は、職員が仕分けして自分のものは自分でたためるよう支援している。難しい方のものは、他利用者が手伝ってくれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個人の思いを無視したり強制することがないよう、極力、「どうしましょうか」と尋ねる等、ご本人の思いを尊重し意思を伺う努力を行っています。また、ご本人に難しい場合には、ご家族に相談してから決定しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事や口腔ケアなど、日々の共同生活の中で健康維持の為に最低限必要なことや、様々な家事のお手伝い等お願いして実行していただいています。ただ、その日の体調やご気分が出来ないことも当然あり、無理強いはいしていません。お部屋で過ごされたり、ホールで何かされたり、その方のペースで、ご意思を尊重して、過ごして頂いています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 歳を重ねても、自分らしく格好よく過ごしたいと思われています。希望を尊重したお手伝いや、自己表現が難しい場合には、ご家族の協力や職員で、身だしなみやおしゃれ感覚を忘れない手助けに努めています。理美容院に行かれた際には、「綺麗になりましたね、格好よくなりましたね。」等の声掛けを必ずし、いつもとは少し違う素晴らしい笑顔が見られています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備や片付け等、できる方はご自分の役割のようになんて手伝って下さっています。時にはアドバイスや指導をして下さったり、総じてアットホームで穏やかな雰囲気を楽しんでおられます。食事の準備、片付けも生活リハビリでは重要な場面であり、皆さんに助けをいただき和やかに進んでいます。 (外部評価) 朝食、ご飯、汁物、夕食の一品を各ユニットで作製、他は併設施設から大皿で届き、ユニットで盛り付けている。調査訪問日の昼食時には、利用者が炊き込みご飯について「おいしいよ」と何度も職員に感想を言っていた。職員も同じテーブルを囲み、利用者を見守りながら持参したお弁当を食べていた。箸、コップ、茶碗は、各自のものを使用している。食後、利用者が下膳をしたり、食器を洗ったり、拭いたりしている様子が見られた。野菜の下ごしらえや盛り付け等もできるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 併設施設の管理栄養士による献立のお陰で、栄養のバランスには不安なく対応できています。適切な食事や水分の摂取は、皆さんの健康管理の上で重要なことであり、日々気を付けており、その時々状態に合った食事形態への変更等、主治医からの指示をいただいたりもしつつ支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性は十分に認識しています。毎食後、必ず声掛けし、自立されている方、見守りの必要な方、あるいは誘導して介助の必要な方それぞれに実施しております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> <p>おむつ減らしは大変重要な課題と認識しています。声掛け、トイレ誘導、夜間のポータブルトイレの利用など可能な限り行動して排泄の支援をしています。最近では失禁を気にされて、ご本人の希望でパンツ形式のおむつを利用される場合があります。今後もプライバシーに十分配慮した対応に努めます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>カンファレンス時に、個々の紙パンツやパッド使用の適切性について話し合い、一人ひとりのその時々々の状態に合った支援に取り組んでいる。日中は、全員トイレで排泄できるように支援を行っている。自分でパッドを準備してトイレで始末をする方用に、トイレの中には汚物入れを設置している。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>管理栄養士の応援もあり、便秘に配慮した食事の工夫ができています。また、運動不足が便秘の原因にならないよう、ホーム内の歩行運動や周辺の散歩、各種レクへの参加がいただけるよう努めています。協力病院との連携で、効果的に対応もできており、すがすがしい日々を過ごしていただけているようにしています。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入浴を楽しみに待たれる方、入りたくない方と色々ですが、清潔保持の為にもタイミングや声掛けの仕方を考え、無理強いはせず、皆さんに機嫌よく入浴していただいています。入浴されると会話もはずみ、普段見られない笑顔も見られます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>個々に、週3回を基本にして入浴を支援している。自分で洗身する方については、職員は脱衣所から見守っている。浴槽のまたぎが困難な方は、本人の状態により二人介助で浴槽の出入りを支援したり、シャワー浴の支援をしている。好きなシャンプー等を持ち込んでいる方や、希望でシャンプーハットを使う方もいる。自分でドライヤーを使い髪を乾かす方もある。冬至の頃には、柚子湯を楽しんだ。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>入居者お一人お一人の生活リズムを大切に、見守りや支援をしております。しかし、日中の眠りすぎによる昼夜逆転が起こらないように注意し、日中の活動メニューを考えて声掛け等も行っています。基本的には、皆さん思い思いに過ごせるようにしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お薬の服用方法や効能等、情報は、医師からの説明や薬局発行の説明書で把握できています。処方時や変更時にはしっかりチェック。不明な点は病院、薬局へ問い合わせをし、確実に服薬いただけています。また、服薬による状態の変化やその後の経過等、連絡できるような連携体制をとっています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご本人やご家族から、生活歴や生活習慣のことなどを伺うことで、会話も弾みます。皆さんそれぞれに、手芸や工作等の手作業、カラオケなど、お好きなこと、やりがいを感じるがあります。入居者自ら洗濯物を綺麗に干して綺麗に畳まれ、「もうない?」と聞かれることもあり、お手伝いをお願いしたり、楽しみ事を支援したりしています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日のお天気や気候を考慮しながら、できる限りの努力をして、希望にそって外へ出て散歩していただいています。季節ごとの行動計画でや、地元自治会行事への参加も行っています。ご家族の協力もあり、外食、買い物、墓参り、一時帰宅等、外出の機会は増えたと思います。	
			(外部評価) 気候の良い頃は、車いすの方も一緒に出て、敷地内の散歩を行っている。初詣、芍薬や菖蒲見物、紅葉狩りは、毎年恒例になっており、家族も誘って出かけている。昼食時に利用者の「たまには外に出たい。百日紅の木が見たい」と言う声が聞こえた。職員は「もっと外を散歩したい」と話していた。	季節を問わず庭に出たり、ちょっと散歩して気分転換を図るような支援に工夫してほしい。又、個々の希望を聞きながらスーパーや喫茶店等、地域資源を活用して利用者の生活の幅を広げるような取り組みも、すすめてみてはどうだろうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人が自由に金銭を持っていて色々なトラブルがありました。入居者によって、個人でお持ちの方も居ますが、ご家族との話し合いで事務所で管理し、出納の報告をしています。必要時にはいつでもお渡しできており、特に、ご不便をお掛けすることもなく推移しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご希望や状況に応じて、電話の取次ぎや電話される支援を行なっています。ご家族からもよく電話がかかってくるので、取次ぎし、直接お話いただいたりもしています。手紙のやり取りも、できる方は一部ではありますが自由にされています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>明るく広い共用空間は問題なく確保しています。自然光を取り入れながら、外の明るさに応じてブラインドや柔らかい間接照明で明るさの調節を行なっています。自然が多く、窓からの景色も楽しめ、西側の窓から見える夕日は、入居者の皆さんがいつも「きれいねえ。」と喜ばれています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>敷地内には、桜の木がたくさん植えられている。玄関には、職員がひまわりの花を生けていた。廊下の壁面には夏祭りに使った利用者手作りのうちわを飾っていた。廊下や食堂、居間は、広々とした造りで、毎朝、職員と一緒にラジオ体操を行っている。テレビの横の壁面には絵画を飾り、大きめの観葉植物が配置されていた。雑誌等を置いたマガジンラックがあり、調査訪問時には、新聞を読む利用者がいた。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>小分けにすることも出来る食卓テーブル、テレビに面したソファ、その他にも小さいテーブルとセットのソファがあり、それぞれの場所でお話されたり、趣味を楽しまれたり、休憩されたりしています。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室内の調度品は、ご自宅でお使いの馴染みの物をお持ちいただくようお願いしています。入居者、ご家族によって様々で個人差があり、色々と置かれている方もあれば、そうでない方もあります。お好きな塗り絵や飾りを、ご希望に合わせて貼ったり置いたりする場合もあり、ほとんどの方は、ご自分の気に入る状態で生活されていると思います。</p> <p>(外部評価)</p> <p>春には、全居室の窓から桜の花が目前に見える。テレビや椅子を持ち込んだり、お気に入りの小物を並べている居室があった。毎月、職員が数種類のイラスト入りカレンダーをつくり、利用者が好きな1枚を選び壁面に飾っている。日記代わりに毎日の出来事や食べたものを書いたり、家族が来た日に○を付ける方もある。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>段差のない構造や、トイレへの移動をとっても、手摺りを配したり、場合によっては目印や張り紙をして、分かりやすく安全に移動できるよう配慮しています。最近是这样した造りにも違和感なく慣れておられる方が多いように思います。</p>	